

堀部員

佐世保地方復員局公報

第七七號 昭和二十一年四月十六日(火)

○ 令 達

佐復達第三八號

昭和二十一年四月十六日

佐世保地方復員局長一宮義之

復員局
佐世保地方電信課長及鹿兒島、博多、門司、唐津各上陸地連絡所長(運輸部長)ハ左ニ依リ部外通信法講習ヲ實施スベシ

一 目的

総務局第六四三番電(四見)關聯各無線艦所電信員ニ對シ部外通信法(般交)信法及特種交信法)ヲ講習シ之ガ徹底普及ヲ期スル在リ

二 實施期日

成ルベク速ニ(遲クモ六月末迄)終了スルモノトス

三 實施分担及講習參加艦所區分

分 担	講習 參加 艦 所 區 分
佐世保地方復員局電信課長	佐世保長崎浦上崎川棚所在艦所
鹿兒島上陸地連絡所長(運輸部長)	鹿兒島所在艦所
博多同	博多所在艦所
門司同	門司戸畑若松方面所在艦所
唐津同	唐津所在艦所

四報告

各講習担任官ハ四五及六月ノ毎月末講習終了
艦所名及實施經過概要並ニ所見ヲ本職ニ
報告スベシ

○通 牒

昭和二十一年四月十日

佐世保地方復員局電信課長
部外通信法講習實施要領

川 柵 運 航 部	佐世保 長崎 浦 崎	所 在 無 線 艦 所	電 信 員 全 部
運 航 部 補 充 課	復 員 局 電 信 課	實 施 場 所	記 事
定 入	實 施 日 時 別		

四教官
電信課 職員中本講習既了者

五實施要領
別紙所定

一目的

部外通信法(一般交信法及特種交信法)ヲ説明シ
之ガ徹底普及ヲ期スルニ在リ

二實施期間

自 四月下旬 詳細別紙所定
至 六月中旬

三參加員及實施場所

六報告

(1) 講習員派遣、各艦所ハ左記様式ニ依ル參

加員名簿ヲ參加第一日ニ持參セシムルモノトス

部外通信法講習參加員名簿

(派遣艦所)

A	講座種目	官等	氏名(連記)	部外通信経験の有無
B				
C				

(四) 主任教官ハ名簿ニ依リ派出全員ノ講習終了セル艦所ハ之ヲ按シ本職ニ報告スベシ
七、雜件

(イ) 參加員ハ晝食辦當及筆記要具携行ノト
(ロ) 講習中隨時考査ヲ行ヒ修得狀況檢討ス

(別紙)

部外通信法講習要領

火	月	曜日	回次
23	22	4月	I
7	6	5月	II
21	20		III
4	3	6月	VI
18	17		V
午前 10:00		時間	
A		講座別	
一般交信法		講習科目	
通		教	
照喜名 事務官		官	

土	金	木	水
27	26	25	24
11	10	9	8
25	24	23	22
8	7	6	5
22	21	20	19
		午後	
C		B	
質疑 疑應 答		特殊交信法	
長		信	
各 教 官		富永事務官	

備
一、各回次共同内容、講習ヲ施行ス
二、各講座共二日間同内容、講習ナリ

考
三、参加艦所ハ業組(勤務)電信員ヲ二分シ隔日参加セシム
四、参加員派遣艦所ハ自艦所、行動作業ヲ勘考シ同成同一回次ニ出席セシムルモノトス
五、右ニ依ルモ尚欠席止ヲ得ガレ場合ハ爾後ニ於ケル同講座、實施ニ参加セシム
六、之ニ依ルモ尚参加シ得ガレ向ハ右所定以外、日要求ニ依リ教官ヲ當該艦所ニ派遣ス
但シ在泊中、モ、ニ限ル

七、講習ニ必要ナル資料ハ電信課ニテ準備ス

佐復第 四五 一 號

昭和二十一年四月十六日

佐保地方復員局總務部長

關係各廳長殿

聯合軍ニ對スル旧海軍軍需品引渡事務、
内務省移送ニ關スル件照會
首題、件ニ關シ別紙、通申進有之候ニ付關係各部
ニ於テ縣引渡關係者ニ引継相成度

390

1017

追于縣ニ引渡タル施設 倉庫(所在附記) 名
一覽表ニ通至急送付相成度

(別紙)

復總務局第三五一號

昭和二十一年四月八日

第二復員省總務局長

各地方復員局長官殿

聯合軍ニ對スル旧海軍軍需品引渡

事務、内務省移管ニ關スル件申進

首題ニ關シ別紙、通内務次官ヨリ第二復員次

官宛通知有之候條可然取計相成度

(別紙)

内務省發調第五三〇號

昭和二十一年三月三十一日

内務次官

第二復員次官殿

聯合軍ニ對スル旧日本陸海軍軍需品引渡
事務、内務省移管ニ關スル件
標記、件ニ關スル地方長官宛通牒別紙、通及御送
付候也

(別紙)

内務省發調第五三〇號

昭和二十一年三月三十一日

内務次官

各地方長官殿

聯合軍ニ對スル旧日本陸海軍軍需品

引渡事務、移管ニ關スル件

復員省機構、復員省廳へ改編縮小ニ伴ヒ四月

日以降従来復員省地方機關ニ於テ實施シアリシ旧

陸海軍軍需品、聯合軍ニ對スル引渡事務ハ地

方廳ニ於テ實施シ復員省廳關係ハ之ニ協カスル

ヲト相成候條左記要領ニ依リ海員施相成度

及通牒候也

記

一、聯合軍^對未引渡、軍需品ニ関シテ之カリ
スト、復員省関係地方機関ヨリ地方廳ニ
引継キ地方廳ヨリ聯合軍ニ引渡スト

地方廳ハ該リストニツキ品目數量ヲ検收シ
リストト現物トニ喰違ヒアル場合ハ復員省
関係地方機関ニ對シリスト、訂正ヲ求メ置
ク

二、軍需品、聯合軍ハ引渡及聯合軍ヨリ引
受、際ハ地方廳代表ハ夫々旧陸海軍代表及
内務省代表トシテ之ニ立會ヒ、リストニ署名
ス

三、復員省関係地方機関ニシテ地方廳ニ包括
カルモノアル場合ハ從來復員省関係地方機
関ニ於テ實施スル事務ハ該機関ニ於テ之ヲ行フ

○雜 款

○郵便物發送

本艦本日附第回豫備艦ト相成リ乘員ハ総員左記
ニ乗船致候間自今郵便物ハ左記宛送付相成度

廣島縣吳市

吳地方復員省艦船運航部氣付

特別輸送艦 ホゴ夕丸

本艦宛郵便物ハ左記宛送付相成度

佐世保市 佐世保郵便局氣付

早 鞆丸

本艦宛郵便物ハ左記宛送付相成度

記

福岡市石城町一丁目九博多陸地連絡所運航班氣付

特別輸送艦 海第三二七號

堀部 号

佐世保地方復員局公報

第六一號 昭和二十一年三月二十五日(月)

○ 通 牒

(轉載)

社發第三九一號

昭和二十一年三月十三日

學生省社會局長

第一復員省總務局長

第二復員省總務局長

各地方引揚援護局長殿

各 復 員 官 殿

各地方復員局長官殿

地方引揚援護局上陸地交局

及上陸地連絡所復員部上

關係ニ関スル件

首題件ニ關シ今般別紙ノ通關係各省次官

總見書決定相成候ニ付テハ關係機關ニ對

シ之ヲ趣旨徹底ヲ圖ルト共ニ地方引揚援

護局長統轄下現地引揚援護業務ノ

綜合的運營ニ層遺憾ナキヲ期セラレ度此ノ段
依命及通牒候

地方引揚援護局ト上陸地交局概上陸地
連絡所復員部ト關係ニ關スル覺書

昭和二十一年三月十一日

學生次官

第一復員次官

第二復員次官

一、業務分界

(一) 地方引揚援護局所管ノ應急援護ハ引揚者

ノ受入又ハ送出ニ伴フ給食宿泊醫藥其ノ他ノ

援護業務ニシテ本業務ニ關スル限リ一般郵

人ニ對スルモノタルト軍人軍屬ニ對スルモノタルト

ヲ問ハズ總テ地方引揚援護局擔任トス

(二) 軍人軍屬ノ受入ニ伴フ復員手續召集解除

等ノ人事處理遺留(遺留品)處理未定

排俸給留守宅渡留守宅名簿等ノ整理

3/27

功績調査部ニ関スル資料、調査経理關係
書類、受研等、業務(以下純復員業務ト稱ス)
ハ右應急援護ノ範圍ニ屬セズ上陸地又ハ
陸地連絡所復員部其他、復員省關係機
関ノ所管事項トス

二地方引揚援護局ニ復員部ヲ設ケル理由

純復員業務ハ前項ニ依リ地方引揚援護局
(以下單ニ援護局ト稱ス)ノ所管外ト雖モ左記事
由ニ依リ援護局内ニ復員部ヲ設ケ本務ノ實
施ニ當ラシムルモノトス

(一) 聯合軍司令部ノ指令ニ依リ上陸地ニ於ケル復
員業務ヲ單一機關ヲシテ綜合的ニ實施セ
シムル必要アルコト

(二) 軍人軍屬ノ受入ニ當リテハ實際ノ取扱上純復
員業務ト援護業務トヲ一體的ニ實施スル
必要アルコト

三職員ノ身分關係

(一) 復員省關係機關所屬、現地職員ハ原則
トシテ援護局復員部ニ配屬セシムルモ其

一部ハ必要ニ應ジ援護局、他ノ部所ニ配屬セシ
ムル業務ニ從事セシムルモノトス

(二) 前號ニ依リ援護局ノ各部ニ配屬セシムル復
員官、復員官補ハ總テ援護官又ハ援護
官補ニ兼補スルモノトス

(三) 援護官、援護官補ニ兼補セラレタル復員官復
員官補ハ純復員業務ニ付テハ復員省關係
機關ノ指揮ヲ承ケルモノトス援護業務ニ付テハ總テ
援護局長ノ指揮ヲ承ケルモノトス

(四) 援護官、援護官補ニ兼補セラレタル復員官復
員官補ノ異動ニ付テハ復員省關係機關ニ於テ
豫メ援護官ニ付テハ學生省ニ、援護官補ニ付テ
ハ地方引揚援護局長ニ協議スルモノトス

(五) 地方引揚援護局ト復員省關係機關ノ豫算關係
ニ援護業務ノ實施ニ要スル經費ハ一般邦人ニ關
スルモノタルト軍人、軍屬ニ關スルモノタルトヲ問ハズ
總テ援護局ノ豫算ニ依ルモノトス

(六) 復員省關係現地機關所屬職員及歸還軍
人軍屬ニ對スル俸給、及掛其他純復員業務

ノ實施ニ要スル經費ハ總テ復員省關係撥
開ノ豫算ニ依ルモノトス

(註) 本覽書ハ八章第一復員省ヨリ擬案サレ
地方引揚援護局官制發令ニ伴フ業務
分界等ニ就テ(關係者次官覽書案)ニ
關スル正式決定文書トス

(轉載)

總務局第五一號

昭和二十一年三月十二日

第二復員省自總務局長

各地方復員局長官殿

引渡調書中署名滿シノ處理
ニ關スル件申進

軍需品及軍關係國有財產等ノ引渡ニ際シ
聯合軍ノ署名ヲ得アラザル急整理邊延シ
向ハ聯合軍被引渡部隊(正ムラ得ザル該地駐
屯軍政官、聯合軍側關係官等)ヨリ速ニ署名
名ヲ求ムル如ク努力シ各種手段ヲ盡スモ署名

ヲ得ルコト不可能ナルモノ又ハ實質的ニ現物ノ處
理圓滑ニ進ミアリ後日問題トナル虞ナキモノハ
地方復員局長官ニテ引渡ノ終了ヲ確認セバ地方
廳證明ニヨリ爾後ノ業務ヲ進ムコトヲ得ルコトニ
被定候條可然取計相成度
憲送付先内務省調査部長

佐復第三五九號

昭和二十一年三月二十五日

佐世保地方復員局長官

關係各廳長官殿

旧海軍所屬國有財產ノ使用
ニ關スル件照會

首題ニ關シ別紙通照會有之候付財務局ニ手
續未済向ハ左記様式ニ依リ調製上財務局
長ニ協議スルト共ニ關係管財支所長出張所
長等ニモ夫々連絡相成度

進而憲一通當復員局ニ送付相成度

記

使用施設名稱 棟數 建坪米² 構造 用途 記事

別紙

藏國第三五號

昭和二十一年三月四日

大藏省國有財産部長

第一第二復員省総務局長殿

旧陸海軍所屬國有財産

使用ニ関スル件

旧陸海軍少自ヨリ當省ニ對シ手續上引継了シタル種財産中貴省及貴省地方機關ニ於テ現ニ使用中ノモノニ關シテハ改メテ管理換ノ手續ヲ執ルニトナク便宜其儘一時使用承認ノトニ取計居候處其使用範圍ノ明確ナラサル爲貴省關係機關ニ於テ既ニ不用トナリタルモノヲ財務局ニ返還セラレトナク或ハ部外者ニ對シ適宜事項頁上ノ使用

ヲ許可セラルル等ノ事例有之財産管理上支障不致ニ付此際貴方關係機關ニ於テ現ニ使用中ノモノニシテ一時使用ニ關スル協議未済ノモノニ付テハ至急關係財務局ニ對シ一時使用方御協議相成ルト共ニ不用ニ歸シタルモノハ逐次關係財務局ニ返還セラレル様御取計相成度及照會候

(電報寫)

發 大 臣

宛 部 内 一 般

第二三三三五七番電

来ル三月三十一日附第二復員省廢廳ニ伴ハ内他所在第二復員部内囑託者ノ自ラ處理關シ左

ノ通定ム

外地勤務者ニ就テハ現在ノ身分ニ変更ナキモトス

三月三十一日附ヲ以テ解令ヲ用ヒズシテ全員解囑セラルルモノトス

現囑託者(專務兼務ヲ拘ラズ勅任奏任判任同待遇)一切ノ囑託者(四月一日以降)囑託者採用、要アル者ヲリテ左ノ諸項ヲ記載新所屬長官經由一括本職ニ採用ヲ具申スベシ

(イ) 氏名(生年月日)

(ロ) 現囑託名及新囑託名

(ハ) 第二復員部内採用年月日

(ニ) 現待遇及報酬額(三月一日現在)

(ホ) 四月一日以降擔當業務

(ハ) 履歷書一通添付(前同提出済モノハ不用)

三四月一日以降囑託者(專務兼務ヲ拘ラズ勅任奏任判任、無待遇等)一切ノ囑託者ノ身上

取扱中採用轉職及解職ハ本職之ヲ行ヒ其ノ他取扱規定ハ第二復員省囑託者身上取扱規則ヲ準用ス

四囑託ノ新採用ハ必要止ヲ得ザルモノニ限ルモノトス

(電報寫)

發 總務局

宛 各復 各上 名古屋地人

第二二一五〇五番電

聯合軍最高司令部ヨリ關門鐵道輸送力不足ノ爲(毎日輸送數八〇〇名以内トス)左ノ通指令セラル

一 別府港、使用ハ直ニ之ヲ廢止ス

二 配船ノ變更

(イ) 別府使用豫定ノ「リハテ」船ヲ漸加員使用ニ變更(一日四五〇名)

(ロ) 上海博多間ノ「LST」ハ「ク」一隻ヲ仙崎ニ變更(一日一五〇名)

三名若屋港ヨリ四月七日迄ニ受入港トシテ至急整正
 浦、上完成後ハ別府ヨリ浦賀ニ変更セルルハ
 船舶ヲ之ニ回航使用セシム

(電報(寫))

發 總務局長

宛 給無線艦所

第二三三三番電

昭和十年官房第一三七五番電(聯合國航空
 機搭乗員救助通信ニ關スル件)第三項中
 第二放送電波ニ依ル救助關係情報ノ放送
 時刻ヲ情報入手直後及毎偶數時、始ニ改メ
 ラル

(電報(寫))

發 佐 復

宛 惠美須灣在泊艦船、阜鷹

通報 給無線艦所

第二三三二番電

本二十三日一五〇以後佐世保、惠美須灣在泊艦
 船ノ通信(無線信號共)代表艦ヲ阜鷹ニ

指定ス

通信要領

(無線)

(イ) 阜鷹ハ〇七〇〇——二二〇〇ノ間常時電放

送(ソル)ヲ待受

右時間以外ハ三ツケ常時待受トス當分ノ間阜鷹
 ハ送信ヲ行ハズ了解函送要求等ハ電話運

絡トス

(ロ) 在泊艦ハ入港一時間後ヨリ出港一時間前迄受
 信當直ヲ撤ス發信電報ハ各艦ニ於テ送信
 スルヲ建前トス

二信號

(イ) 阜鷹ハ陸上各部下在泊艦ト間、信號及第
 一項ニ依ル電報ノ中継ニ任ズ

(ロ) 阜鷹及在泊艦ハ〇七〇〇——二二〇〇ノ間常時
 艦橋信號當直ヲ配ス右時間外ハ夜間當直

員ヲシテ相互信號ニ留意シアルモトス

(ハ) 各艦ノ信號符字ハ無線呼出符號ヲ使用シ
 第一字ノ「J」ヲ省略スルモトス

長崎人第 127 號

佐復第二〇號

昭和二十一年二月六日

佐世保地方復員局總務部長

長崎人事支部長殿



支部長

聯合軍接收ニ關スル件照會

支部員

駐港外大立島照射所、接收狀況不明ナル處、右接收ハ長崎進駐軍ノ所管ニ屬スル由ニ付、貴方ニテ進駐軍ト連絡ニ接收未濟ナ

庶務主任

ラハ促進方取計ヲ得度

追テ目錄別紙ノ通ニ候

(別紙目錄五部添)

海軍

一 備所 艦隊 岐ノ件
 是 倉中 佐 拘 留
 二十五 耗 材 銃 彈
 小 尉 小 野 田 郎
 其 帶 後 見 玉 源 志
 二 六 五 自 由 招 收 件
 直 駐 軍 司 令 部
 豊 彦 谷 理 課 長
 復 員 者 以 務 者
 下 八 以 務 者 下 直 駐 軍 司 令 部
 二 十 七 日 以 後 一 週 向 程 多 直 駐 軍 招 收 件
 了 是

佐復第二〇號

昭和二十一年二月六日

佐在保地方復員局總務部長

長崎人事支部長殿

聯合軍接收ニ關スル件照會

佐在保港外大立島照射所、接收狀況不明ナル處、右接收ハ長崎進駐軍ノ所管ニ屬スル由ニ付、貴方ニテ進駐軍ト連絡シ、接收未濟トシテ促進方取計ヲ得度ク

追テ目錄別紙、通ニ候

別紙目錄五部添シ

十日

佐在保地方復員局

長崎人事支部長殿

引込

海軍

大立島照射所目録 List of Otate Battery
 佐世保海軍警備隊 Sasebo Naval Garrison

品名	article	Amount	Location
探照灯	Search light	1	Otate - jima
管制器	Controller	1	4
25mm 聯裝機銃	25 m.m double machine gun	1	4
全彈藥包	bullet	2,950	4
兵舎	barrack	1	4

終

佐復第 三五四 號

昭和二十一年三月二十三日

佐復地方復員局總務部長

福岡地方復員人事部長殿

輸送艦黑島撤去兵器聯合軍接收連絡、件照會

首題、件別紙目錄、通若松九州造船株式會社船渠

二所在、三在、三付現地米軍二接收方取計、得度

(別紙目錄三通添)

寫送付先 佐復管業部長

終

海

軍

聯合軍引渡目錄

20th March 1946

List of Articles to be delivered to the allied Forces

佐世保地方復員局
Sasebo District Demobilization Bureau

Article	Amount	Location	Remark
三年式八糧砲 San-men Type 8cm gun	1 *	若松九州造船株式會社 Kure Ship Dock Yard Wakamatsu	輸送艦黑島到撤去三陸揚 セキ兵器+) removed on shore from Transport Kuroshima

21.3.22. 計字簿記二部報告之 (控)

1032

聯合軍引渡目錄

1st march 1946

List of articles to be delivered to the allied forces

佐吉保地方復員局

Sasebo Distric Demobilization Bureau

品名	article	数量 amount	所在 Location	記 Remark
九六式九〇糎探照灯(補用品共)	96 type 90cm search light (with spares)	1 基 1	佐吉保復員局 營業部計電課 内業二場	
九六式一一〇糎探照灯(補用品共)	96 type 110cm search light (with spares)	1 基 1		
九六式探照灯管	controlling machine for altitude search	1 基		

制蓋 (補用銃夾)	light (with spares)	1		
パラバーン	paravane	2個 2	in a factory of electricity	銃架は撤去 され
十三口径機銃銃身	barrel of 13 mm machine gun	2基 2	Division, Industrial section, S.D.D.B.	removed from Chitakushi- maru
二十五口径機銃銃身	barrel of 25 mm machine gun	1基 1		
距離時計	range clock	1個 1		
弾着時計	time of flight	1個 1		
二五口径三聯装機銃架	arm-rack for 25 mm triple machine gun	2基 2	營業部内五神丸 下 by the crane of Tateyama;	海防艦 295 より撤去され、 removed from EV
二五口径聯装機銃架	arm-rack for 25 mm machine gun (2 twin)	4基 4	in industrial section, S.D. D.B.	No. 29

1033

二五口径機銃架	Arm-rack for 25 mm machine gun	之基 +		
---------	--------------------------------------	---------	--	--

地部員

佐復第三〇五號

昭和二十一年三月十三日

佐在保地方復員局總務部長

佐在保地方復員人事部長

長崎支部長殿

撤去兵器聯合軍接收連絡、件照會

海防艦第十二號撤去兵器別紙引渡目録、通

香燒島川南造船所ニ所在ニ居リ候ニ付現地米軍ニ接收方

取計ヲ得度

(別紙目録三通添)

寫佐復管業部長

(終)

海

軍

聯合軍引渡目録

1st, march, 1946

List of articles to be delivered to the allied forces

佐々木地方復員局

Sasabe district Demobilization Bureau

品名	名	articles	数量	所在	備考
			Amount	Location	Remark
パラベーン (大)	Pararane (big)		4 個	香檳島南艦船所	海防艦十二番ヨリ撤去品
パラベーン (小)	Pararane (small)		4 個	Kawaminami Deck, yard	removed from E. V. No 12
十二糎E型砲身砲架	barrel and gun mount for 12 cm gun model 三		2 基	Keyakizima	

(終)

堀新定印

佐復第二四二號

昭和二十一年二月二十二日

佐世保地方復員局總務部長

福岡地方復員人事部長殿

鑾遂艦冬月撤去兵器聯合車引渡ノ件照會

首題ノ件門司海岸壁ニ所在ノモノ別紙引渡目録ノ通ニ候ニ付貴部ニ

於テ聯合車ニ引渡方取計ヲ得度

(別紙目録三通添)

「寫送付先 營業部、冬月」

(終)

(長崎港)

冬月支署

海軍

撤去兵器引渡目録

一九四六年二月十日

遂 經 冬 月

(長崎縣)

品 名	數	庫 場	所
九八式十糧聯裝 高 角 砲	四	基	門司沿岸壁
九二式四聯裝 發射 型	一	基	
<p>記 事</p> <p>上記兵器ハ 遂 經 冬 月 工 作 艦 へ 山 口 縣 仙 崎 港 へ 配 置 一 一 改 造 ノ 爲 彦 島 三 菱 造船 所 へ 撤 去 セ ル モ ノ ナリ</p>			

(移)

海 軍

撤去兵器引渡目録

1946. 2. 10.

List of ordnance to be delivered

驅逐艦 冬月

D D Fuyuzuki

品名 article	數量 amount	場所 Location
九八式十糎聯裝高角砲	4 基	門司港岸壁 Wharf of Moji harber
98 type 10cm anti-aircraft twin gun		
九二式四聯裝發射管四型		
92 type tetrad tube model 4		

終

記事

上記兵器ハ驅逐艦冬月ヲ工作艦(山口縣仙崎港=配置)=
改造ノヲ彦島=造船所=ヲ撤去セルナリ

Remark

Above-mentioned ordnance are taken away from
D D. Fuyuzuki at Mitsubishi Dock Yard at
Nikoshima in order to reform into repair-Ship
(to be located at Senzaki harbor, Yamaguchi-
Ken

(終)

(end)

10 Jan 1946

(無本題)

1040

5 AC Ammeters 0-700 A
 5 AC Ammeters 0-300 A
 5 AC Voltmeters 0-200 V
 1 Megohm
 1 Elect. connection plug } Whee #50

5 Buzzers }
 3 glass pitchers } Whee #49

575 名簿 = 1
 12.1 日航 米印
 持込 支 経 証
 持 印

F. W. Smith
 Lt. Col. U.S.A.R.
 Sub. Div 151

宮崎

暗號長

電信長

警察無線電報文用紙

月 7	日 16	受信時刻 21	作成時刻 1630	翻譯者 馬	記事 電	番號	定指	所發信	所送信 宮崎	知事	警察 部長
										警務 課長	取扱 者
通信文 平文暗號 (無線有線)						者	信	着	受	者	發信者
一兵卷引渡之未完了部隊左ノ通 (詳細ハ書類) 舊九州空宮崎基地隊 二二空廠宮崎 補給工場 第五二六設營隊 吳通 宮崎分遣隊 都井特設見張所 二七〇パーセント完了						者	信	報	受	者	發信者 佐吾保 地言復員局 總務部長
整理番號						電波	165	K.C.	分	16	時
長崎 11						1042					

宮地人第五號六

昭和二十一年一月八日

宮崎地方復員人奉部長

佐世得地方復員局總務部長

兵署等引渡ニ関スル件報告

宮崎縣下ニ於テ先有題ノ件前電通ナルモ尚詳細ノ

狀況左ノ通ニ有之矣

一兵署

山縣北部地区

一 所 在 部 隊

第三十五突撃隊、富高海軍航空基地隊、延岡防

空砲台、若脇海軍特設見張所、佐世得海軍施設部

宮崎地方事務所及第五三七、五三八設営隊

アト提印

宮地



概況

昨二十年十一月下旬引渡ヲ開始シ年末迄ニ引渡
ヲ完了セリ

処分未済ノ儘引渡目録ニサインヲ終セリ処分ハ
先方ニ於テ實施スル旨通告アリ

四 縣中部地区

一 所支部隊

宮崎陸軍航空基地、第五二六護衛隊、第五三航空廠

宮崎補給工場、吳海軍通信隊宮崎分遣隊

三 概況

接收未着手

一月十四、五月頃ヨリ接收ヲ開始スル旨通知アリタリ

三 縣南部地区

→ 所在部隊

第三十三突撃隊、崎田航空基地、都井海軍特設

見張所

⇒ 概況

昨年十一月ヨリ接收ヲ開始シ現在概不兵器ノ引渡シノモノハ終了シタムモ処分中ニシテ処分完了セザレバ自録ニサインセスト米接收指揮官ハ申シ居レリ

二、燃料、糧食、被服等

昨年十一月迄ニ部下全部ヲ通シ完了セリ特ニ燃料ハ米軍ノ要求ニ依リ自録外ノ燃料情況ヲ調査シ且ニ量表ニ送付セル調査表ヲ米軍ニ提出セリ

三、施設等

全縣下ヲ通シ海軍ノ管理下ニアルモノナリ
富高航空基地ハ既ニ縣側ニ於テ開墾中ナリ
宮崎水支社ハ米軍ニ接收セラレ民政部ニ使用
中 富高航空基地海軍會住宅ハ未処理
吳通宮崎分遣隊家屋ハ高鍋稅務署ヨリ保管中
崎田航空基地建物ハ未処理

張江漢之

昭知平一年一月十五日

白等言了定擊隊殘務整理班長

伍七條第一復久句總務部長殿

殘務整理終了報告

本隊所屬兵器軍需品、既、電報新報告申上候

昨年十二月三日、聯合軍、引渡完了、既、收目録、官崎

地不復久人事部長宛送研任候、痛後殘務整理中

、處、愈々本口より終了候、候、併、此、既、新報告申上候

尚、小官以下残為久、人事給與等、聞、官人、依、損、致、

置、候、小官左記、帰郷致、候、併、申、添、候、

香川縣

帰郷地 香川縣 大川郡津田町旭町 木内久雄

山崎 下 押 平 員 函 ③

昭和十一年十一月十五日

佐野 瑞務 整理班長 中村 中佐

後免局 総務部 中佐 敬

一、延岡 洲道中、山下少尉連任、夕夕帰事申付

十一月一日以降、洲道中、昔瑞務等と給方

御取計、ヒラ得度

洲道員、海軍少尉少中豊彦、一梯正十野一功

水長 平原 政男

一、鹿屋 洲道中、森山少尉連任、夕夕帰事、報告、依ハ

接收、十一月二十七日終了、瑞務、二期日書定、三、瑞務

「除、海軍、立倉、要セズト進駐、ヨリ云ヒアリ、依、

鹿屋 洲道員、召集 解除、一、トト致度、今日末附

以下 解除手續、御取、下サレバ、好都合ト存候

海軍

尚¹廿¹ハ爆破ニ降シ 実砲スレト進駐軍ニ申シ居ル

トノ報出ニテ 差支ナキモノト認メアリ

巡査員

海軍少尉

赤杉山 高田方

上白

渡島 島敷ニ

上白

酒井 良夫

右ニ封シテ七十月¹下¹以降、給支給方取計ニ復

終

海

軍

二十一空敵 佐々保地已

火藥火工兵器在庫量

廣畑 一四五〇〇電 (地上 二五〇〇電 地下 一六〇〇〇電)

日 宇 四〇五〇電 (空彈 露天積置)

牛ノ浦 四五〇〇電

(空彈 二二二五電 實 八三五電 火藥 一四四〇電)

總

海軍

信長83

1051

十月

佐藤小川参謀殿

依テ 福澤諭吉

軍用及軍用兵器、兵器製造商の報告

前記の件左記の通り

記

区 分	品 名	用 途	記 事
十箇三民部製機 可成ニシテ	平左衛門式銃 工業用重機銃等 パイナメント ハコ式機銃等	砲山用 土地用銃	増設機銃等 新設機銃等
兼テ加工セシ 民部利用可能	下等機銃等 九一機 九二機 ラトリール 各種機銃等	土地用銃等 木村銃等 銃内機銃等	新設機銃等 既設機銃等
黒色火薬	機銃用	新設機銃等	

其ノ他彈丸(炸藥等)ノ製造及加工等ノ取扱ハ前記ノ通り

○オシロイ等ノ取扱ハ前記ノ通り

結

下

高岳	首東	天神	荊烟	橋山	八久保	八尋	八天	石登	弓張	田島	砲台名
8cm	127 ^{cm}	8cm	12 ^{cm}	127 ^{cm}	12 ^{cm}	12 ^{cm}	12 ^{cm}	127 ^{cm}	10 ^{cm}	40 ^{cm}	砲種
1107	938	1232	580	945	786	778	200	968	511	654	砲台名
		箱	箱			箱			箱	箱	砲台名
	箱	箱	箱	箱	箱		箱	箱	箱	箱	砲台名
3	50	30	25	3		1	3	28	18		砲台名
前烟	前烟	前烟	前烟	前烟	前烟	前烟	前烟	前烟	前烟	前烟	砲台名
3	2	4	4	3	3	4	2	3	4	4	砲台名
6	21	14	12	21	18	18	5	22	13	12	砲台名
2	10 $\frac{1}{2}$	3 $\frac{1}{2}$	3	7	6	4 $\frac{1}{2}$	2 $\frac{1}{2}$	7	3	3	砲台名
40	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	砲台名
1	3	1	1	2	2	1 $\frac{1}{2}$	1	2	1	1	砲台名
50	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	砲台名
											記
											一、砲台名簿を整理し、場所を 二、砲台名簿を整理し、場所を 三、砲台名簿を整理し、場所を 四、砲台名簿を整理し、場所を 五、砲台名簿を整理し、場所を 六、砲台名簿を整理し、場所を 七、砲台名簿を整理し、場所を 八、砲台名簿を整理し、場所を 九、砲台名簿を整理し、場所を 十、砲台名簿を整理し、場所を

弾薬処理計画

海軍

(編 四 納)

夕島切	生月	川棚	三越	庵南	庵南	館崎	古里	虚空蔵	寄船	大崎	島瀬	高着
cm 15x1	cm 14x2	8cm	cm 127	cm 40	cm 10	cm 12	cm 155	cm 127	cm 127	cm 127	cm 127	cm 127
100	200	1198	1175	3594	730	753	297	921	1036	898	雑品 下 多 急	990
箱 20	箱 60	箱 25	箱 150		箱 200	箱 100	箱 13	箱 150	箱 120	箱 150	箱 150	箱 162
"	無			箱 1					箱 45	箱 15	箱 15	
"	作業員三十名ニテ碇合ニ船着場迄運搬ス(二日)	川棚	川棚	川棚	打烟	打烟	古里	南南	南南	大崎	打烟	高着
"		5	4	3	3	6	6	3	5	作業員四十名ニテ海岸ニテ運搬ス(三日)	5	作業員四十名ニテ海岸ニテ運搬ス(三日)
"		7	28	4	20	17	20	24	25		30	
"		15	7	1	7	6	3 $\frac{1}{2}$	8	5		6	
"		20	20	20	20	20	20	20	20		20	
"		1	2 $\frac{1}{2}$	1 $\frac{1}{2}$	2 $\frac{1}{2}$	2	1	2 $\frac{1}{2}$	2		2	
"		30	30	30	30	30	30	30	30		30	
"												
"												
"												

海軍

(船岡部)

恩島
田代 1521 100 30 無 作業員三十名を砲台より飛着場迄運搬。此日ヲ要ス

備考

見張所 照射所、機銃彈ハ通直前畑ヲ運搬スルカ又ハ現場ヨリ海中
投棄ノコトトス

終

海
軍

(編同前)

佐後第一三七號

昭和二十一年一月十九日

佐世係地方復興局事務部長

關係各廳長殿

至急

部外放出並ニ提出目錄記載洩洩物資
調査ノ件照會

首題ノ件ニ關シ別紙第一、第二ノ通照會有之候處之ニ關スル調査資料

至急作製相成度

迄テ一月二十二日〇九三〇ヨリ復興局ニ於テ首題ノ件ニ關シ打合致
度ニ付調査資料各二進持込ノ上調査者參集セシメラレ度

(終)

給付物

終戦事務従事者証明書

海軍

右者左ノ通終戦事務ニ従事セシムルコトヲ證明ス

一、終戦事務内容

二、右従事期間

自昭和二十年九月十五日
至昭和 年 月 日

三、就職斡旋優先扱ノ理由

昭和 年 月 日

1058

通知先

管業部 需品部 人事部 経理部 港務部 法務部
通信隊 各庁長

旧施設部 川棚工廠 王空廠 大村航空隊 佐世保病院
大村病院 諫早病院 佐世保警備隊 佐世保海兵団
針尾海兵団 佐世保防備隊
各残務整理班員

終戦事務従事者証明書

海軍

右者左ノ通終戦事務ニ従事セシムルコトヲ證明ス

一、終戦事務内容

二、右従事期間

自昭和二十年九月十五日
至昭和 年 月 日

三、就職幹旋優先扱ノ理由

昭和 年 月 日

別紙第一

發 總務局長
宛 各復員長官

第一七一五三番電

聯合軍最高司令部ニ提出ノ要アルニ付 二十一年八月十四日より同九月
日迄ニ職員管下ニ作廳、部隊其他各廳ヨリ部外官廳、其他ハ補員
松本又ハ拵下シタル軍需品、軍需資材(民間工場分駐カモヲ除ク)各品名
數量補填(拵下)先、今期日、移管當時所在、現所在ヲ掲記、調
書及右ニ關聯ノ貴府尋、命令惠(英文五、邦文五)携行復員官
一名末ル二十八日當局ニ出頭セシメラレ度

終戦事務従事者証明書

海軍

右者左ノ通終戦事務ニ従事セシムルコトヲ證明ス

一、終戦事務内容

二、右従事期間

自昭和二十年九月十五日
至昭和 年 月 日

三、就職斡旋優先扱ノ理由

昭和 年 月 日

1062

別紙第二

發 第二復員省總務局長
宛 各地方復員局長官

第一七一七四。番電

聯合軍提出目録記載洩レニテ武器彈藥等相當アルヲ聯合
軍ヨリ通告アリタルニ付、府縣警察等ト協力徹底調査、上
品名數量所在處理、經過ト既ニ判明セルモノハ二十八日迄ニ
爾余ノモノハ二月六日迄ニ必ズ到達スル様報告相成度
尚總務第一七五三。番電、聯合軍引渡時ニ於ケル衣履
食糧燃料ノ累計數量(判明セルモノ)ヲ二十八日ニ持參サレ
度

(終)

終戦事務従事者証明書

海軍

右者左ノ通終戦事務ニ従事セシムルコトヲ證明ス

一、終戦事務内容

二、右従事期間

自昭和二十年九月十五日
至昭和 年 月 日

三、就職斡旋優先扱ノ理由

昭和 年 月 日

1064